

北九州市 商店街担い手発掘プロジェクト

～現場を歩き、対話を重ねアクションを生み出した8ヶ月の軌跡～



7/28

始動！ガイダンス

商店街が気になる人々が集い、出会い、みんなの現在地を確かめ合う！



ガイダンスから大盛り上がり
この瞬間で何かが起こりそうな
ワクワク感！

第1回 8/25 黒崎で出会う！

まずは出会う、知る、聴く。まだ答えはなく、関係づくりから始まった。



懇親会は毎回めちゃ盛り上がる！
JR古賀駅西口のプロジェクト
おもしろい人が集まれば
まちが変わるんだ！

12/22 第5回 関わった人たちのみんなの想いを丁寧に伝えていくために…
1/28 第6回 素敵なBOOKが完成した！
2/25 最終回



「未来に向けてビジョンをまとめよう」

第4回 11/26 若松で未来を語る

対話が企画に、想いがアイデアに。そして、ひとつひとつがアクションに！



「この熱量を広く伝えたい」が目指すものを考えはじめた。
「一緒にやってみよう」が現実に！

第2回 10/2 門司港で火がつく

学ぶこと、インポートすることで、商店街を見る“目”が変わり始める。



商店街に子どもの居場所
LINEチャットでも多くの意見が交わされる！
「〇〇商店街に行ってみました！」の音が嬉しい。「つながること」が大切だよ

北九州市立大学文学部教授 山下智也さん

第3回 10/30 黄金で動き出す

点が線になり始めた。商店街同士、人と人の間に“連携”が生まれた瞬間。



商店街には可能性しかないぜ

by キトウ

「商店街って何…?」「活性化って何…?」このプロジェクトは、これらをもう1回ちゃんと考え直す時間。ワークショップや視察、対話を重ねる中で、はっきりしてきたこと！

商店街は、ただモノを売る場所じゃない。人がいて、関係があって、物語があって、毎日の暮らしが積み重なってできている。"生きた場所"だということ。



参加者のみんなが持つてきてくれた悩みや迷い、「ちょっとやってみようかな」という気持ち、一歩踏み出すとする決意。全部がリアルで、全部が本気(マジ)。

区を越えて、立場を越えて、世代を越えて、人と人がつながり始めた。制度よりも、補助金よりも先に、関係性が動き出した。

これって、めちゃくちゃすごいことだと思う。

商店街の未来に、正解なんて一つもない。賑わいの形も、関わり方も、全部ちがっていい。昼も夜も、日常も非日常も、商いも、子どもの居場所も、どんな姿にだってなれる。

それが"商店街"。そして、真ん中にあるのは、やっぱり"人"。

顔が見える関係、声が変わる空間、挑戦していい空気、失敗しても戻ってこれる場所。この事業はゴールじゃない。ここからがスタート。

つながりを育てる、関係を続ける。小さく動く、やってみる。完璧じゃなくてもいい、うまくいかなかったてもいい、止まらなければいい、動き続けている限り、可能性は消えない。

みんなサイコー



コーディネーター 木藤 亮太
株式会社ホーホウ 代表取締役

商店街は、変わっていい。むしろ、変わり続けるから面白い。でも一つだけ変えちゃいけないものがある。それは、人の温度。

人の想い。人の関係。人の挑戦。その火を消さずに、次の世代に手渡ししていく。



それが、これからの商店街。商店街には可能性しかないぜ！